
一 般 質 問 通 告 書

第 1 8 6 回浦添市議会定例会
(平成 3 0 年 9 月)

1.	濱 崎 早 人	・ ・ ・ ・ ・	1	9 月 7 日
2.	又 吉 正 信	・ ・ ・ ・ ・	1	
3.	比 嘉 克 政	・ ・ ・ ・ ・	1	
4.	伊 礼 研 一	・ ・ ・ ・ ・	1	
5.	仲 間 烈	・ ・ ・ ・ ・	2	
6.	上江洲 徹 也	・ ・ ・ ・ ・	2	9 月 10 日
7.	仲 里 邦 彦	・ ・ ・ ・ ・	2	
8.	當 間 清 春	・ ・ ・ ・ ・	3	
9.	亀 川 雅 裕	・ ・ ・ ・ ・	3	
10.	稲 嶺 伸 作	・ ・ ・ ・ ・	3	
11.	新 垣 有 太	・ ・ ・ ・ ・	4	9 月 11 日
12.	金 城 大 輔	・ ・ ・ ・ ・	5	
13.	當 間 左知子	・ ・ ・ ・ ・	5	
14.	大 城 翼	・ ・ ・ ・ ・	6	
15.	田 畑 翔 吾	・ ・ ・ ・ ・	6	
16.	伊 礼 悠 記	・ ・ ・ ・ ・	10	9 月 12 日
17.	松 下 美智子	・ ・ ・ ・ ・	13	
18.	下 地 秀 男	・ ・ ・ ・ ・	13	
19.	銘 苅 良 二	・ ・ ・ ・ ・	14	
20.	西 銘 健	・ ・ ・ ・ ・	14	
21.	比 嘉 武 宏	・ ・ ・ ・ ・	16	9 月 13 日
22.	真栄城 玄 誠	・ ・ ・ ・ ・	17	
23.	護得久 朝 文	・ ・ ・ ・ ・	17	
24.	古波蔵 保 尚	・ ・ ・ ・ ・	17	
25.	又 吉 謙 一	・ ・ ・ ・ ・	18	

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
1 濱崎 早人	1 消防行政について (1) 各出張所の人員配置について (2) 市内における火災・事故時の到着時間について (3) 各出張所の施設整備について 2 市内各小中学校の危険場所の確認並びに整備について 3 港川崎原地域の下水道の整備について 4 小学校の英語教育実施について 5 うらそえ腎腎プロジェクトについて
2 又吉 正信	1 新クリーンセンター建設について伺います。 (1) ごみ処理施設整備等の広域化に係る事務の委託について (2) 施設整備のスケジュールと想定する規模等について 2 浦添南第一地区土地区画整理事業について (1) 区画整理地内における交通体系の現状と今後の整備計画について伺います。 (2) 都市計画道路「前田線」のユブシが丘トンネルの早期供用開始について伺います。
3 比嘉 克政	1 国道58号キャンプ・キンザー前拡幅工事の進捗状況について伺います。 2 浦添市にLRT（次世代型路面電車システム）を導入の考えはどうか。 3 第41回てだこまつりの開催日変更について伺います。 4 沖縄県知事選挙における市長の見解を伺います。
4 伊礼 研一	1 乳幼児健康診査事業について (1) 健診受診率と未受診の方への対応について (2) 1歳半健診の時間帯について 2 不妊治療の助成について (1) 現状の取り組みについて (2) 今後の拡充策について 3 来年10月から実施予定の幼児教育無償化が本市に与える影響について 4 市立大平保育所運営について (1) 大平保育所の固定遊具撤去の理由と今後の予定を伺う。 (2) 職員体制について 5 保育園（所）入所基準で、自営業者の青色申告と白色申告に点数の差があるが、その理由を伺う。 6 市役所における非正規の看護師、保健師の処遇改善について 7 港川小学校付近の道路整備と安全確保について

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
5 仲間 烈	1 浦添南第一地区土地区画整理事業について (1) 国際センター線の交通安全対策について ①逆走対策について ②グリーンハイツ自治会地内との接続箇所への信号機の設置について (2) グリーンハイツ線の早期開通について (3) 前田公園にパークゴルフ場を設置することについて 2 ユブシが丘トンネルについて (1) 早期開通について (2) 抜け道となっている道路の安全対策について 3 学童保育について (1) 浦添市の学童の待機児童の対策等について (2) 前田学童の待機児童対策について ①平成31年度末の面積基準等の経過措置終了に伴う今後の行政の対応について 4 県道38号線から県道241号線への里道の活用について 5 沖縄都市モノレール開通について (1) 開通祝賀イベント等を市として計画しているか伺う。 6 浦添運動公園の噴水について (1) 現在活用されていない現状について伺う。 (2) 今後の活用方法について伺う。
6 上江洲 徹也	1 浦添市観光振興計画、4カ所の重点エリアへの支援について (1) 案内標識の充実について (2) 駐車場の整備・確保に向けた取り組みについて (3) 住民ストレス対策の取り組みについて 2 浦添市空き缶・吸い殻等のポイ捨て防止による環境美化促進条例のこれまでの成果と今後の取り組みについて 3 平成30年度及び次年度の市民協働の取り組みについて 4 若年出産への支援について 5 浦添市中小企業・小規模企業振興基本条例施行後の小規模小売業支援の取り組みと今後の支援について 6 内間市営住宅周辺の野良猫について、今年度TNRの実施予定はあるのか伺います。
7 仲里 邦彦	1 カーミージー地区事業計画について (1) 周辺海浜公園の概要と整備の進捗状況について (2) 海岸に面した広場へ建設されるホテルの概要について (3) カーミージーの活用について

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	2 ネーミングライツについて (1) ネーミングライツの採用がもたらす効果について (2) 今後のネーミングライツの計画について (3) ネーミングパートナーの全日空との共同事業について ①市民の翼交流事業（仮称）の創設 3 部活動における外部指導者の導入について 4 学校のブロック塀と通学路の安全対策について 5 てだこまつりにおける沖縄県高等学校校歌大会の実施について 6 浦添市クリーンセンターの熔融施設水蒸気爆発事故について (1) 事故における労働基準監督署、警察署そして消防署の見解について (2) 今後の安全対策について
8 當 間 清 春	1 教育行政 (1) 沢岬幼稚園のプレハブ園舎解体について (2) 解体後の運用について (3) 今後の沢岬幼稚園について (4) 沢岬小学校は将来過大規模が予測されるが対策について 2 学童保育 (1) 放課後児童健全育成事業について ①新制度について (2) 沢岬幼稚園のプレハブ園舎解体後に予定している公的学童クラブの規模について (3) 運営主体について 3 道路行政 (1) 市道大平安波茶線大平3丁目14付近の安全対策について (2) 内間経塚線除草の頻度について (3) 市が管理する市道の路面標示について 4 本市の自治会行事等での出るごみ収集について
9 亀 川 雅 裕	1 当山小学校過大規模校解消について 2 西海岸開発について 3 産業まつりについて
10 稲 嶺 伸 作	1 商業施設などを使用した期日前投票所の設置について (1) 去る6月議会で選挙管理委員会委員長から「県知事選に間に合うか鋭意準備を進めていて、サンエー経塚シティ店長から好意的な協力の返事を頂いている」との答弁を得たが、翁長県知事の逝去により、当初11月18日に予定していた県知事選挙は9月30日に早まった。県知事選には間に合うのか。 (2) 来年夏に予定されている参議院選挙には間に合うのか。

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
	2 住民票など各種証明書のコンビニ交付について (1) 6月に交付機の利用者が列を作り長時間並んでいたそうだが、何が原因だったのか。 (2) 沖縄県内11市中9市で導入されており、浦添市と名護市のみ導入されていない。本市のコンビニ交付の導入について伺う。 3 県道38号線（市役所通り）の拡幅計画に伴う関係者への説明について (1) 通り沿いの貸店舗で飲食業を営む市民から「移転の時期を考えるといけないが、いつまでに退去すべきかわからず不安である。新たな物件がすぐに見つかるものではないため営業補償もあわせて正確な情報を知りたい」との要望を受けている。現状と今後の対応について伺う。 4 市道安波茶沢岬線のJ A浦添支店前の拡幅計画について (1) 当該道路は車2台がすれ違うのもギリギリであり、子供や高齢者を初め歩行者にとっても危険な場所である。カラー舗装で注意を促しているが抜本的な解決について伺う。 5 中国・泉州市との友好都市締結30周年を迎えるに当たりさらなる相互交流について (1) 人的な交流について、これまでと今後の取り組みを伺う。 (2) 経済的な交流について、これまでと今後の取り組みを伺う。また、ビジネスマッチングの可能性について伺う。 6 浦添市新クリーンセンターの機能について (1) 7月に大阪府寝屋川市の新クリーンセンターを文教委員会で視察を行ったが、循環型社会を考えるためのコーナー、地域のコミュニティ、緊急避難所としての機能を有する複合施設として運用されていた。また、ゴミ焼却から発生するエネルギーを利用した発電機能により施設で活用しながら余剰分は売電を行うことで経費削減に生かしている。9年後に稼働予定の本市新クリーンセンターの機能について伺う。 (2) 7月に爆発事故が発生し、管理委託会社の社員が大ケガを負ったが、原因究明と再発防止・安全管理について伺う。 7 庁舎内のキッズスペース設置について
11 新垣有太	1 来年夏開業予定のサンエーパルコ内で事業実施予定の子育て支援センターについて詳細な計画等を伺う。 2 ふるさと納税の現状について、寄附者が寄附金の使い道を選択できる事業メニューがこれまでの11項目から33項目にふえた。追加した事業名と、現在の33項目の事業種別寄附率及び金額等について伺う。 3 モノレール事業とてだこ浦西駅周辺整備事業の進捗状況について伺う。

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	4 児童扶養手当の受給者が毎月支給を希望するかを調べるアンケート調査を今年8月の現況届時に調査すると、2017年12月議会において当時の福祉部長から答弁をいただいた。実施状況と調査結果について伺う。 5 むし歯予防に効果的であるフッ化物洗口について、保育園や学校などで全国的に導入される中、浦添市においては、いまだに実施されていない理由等を伺う。 6 浦西中学校裏門周辺の市街化調整区域について、用途及び都市計画を見直す時期に来ているのではないかと。市の見解を伺う。 7 当山小学校の裏門周辺の道路について、道路幅が狭いことや道路の先が行きどまりになっていることなどこれまでもずっと課題とされてきて指摘されてきていると思うが、なぜ改善できないのか理由等を伺う。 8 当山小学校過大規模解消対策の進捗状況について伺う。
12 金 城 大 輔	1 カーミージーの海の環境保全と利用状況について (1) カーミージーの浜に打ち上げられているさびのかけらについて把握しているか。 (2) 海が濁る事について把握しているか。 (3) 現在の海の利用状況について把握しているか。 (4) 教育における海の活用の具体的な取り組み (5) 海の環境保全のための具体的な施策と予算について (6) 里浜保全活用推進協議会の審議内容について 2 市道牧港港川線の整備状況について 3 教育旅行民泊の取り組みについて 4 小中学校の部活動などの大会における会場での看護師の配置について 5 浦添運動公園の災害用備蓄の状況について 6 認知症対策の取り組みについて 7 介護職員の処遇改善の状況について 8 介護負担の軽減の取り組みについて
13 當 間 左知子	1 保育行政についてお伺いします。 (1) 認定こども園について ①平成30年8月1日現在の設置数について ②平成31年度の計画について (2) 公立保育所の定員数と8月1日の受け入れ児童数について (3) 認可保育園の定員数と8月1日の受け入れ児童数について (4) 小規模保育所の定員数と8月1日の受け入れ児童数について (5) 保育所職員配置について ①最低基準の職員数と実数について (6) 保育士確保策について (7) 認定こども園と保育所との公定価格について

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	2 教育行政についてお伺いします。 (1) 浦添市の公立幼稚園の役割について 3 児童福祉政策についてお伺いします。 (1) キッズファースト運動について (2) 障がい児支援のあり方について
14 大 城 翼	1 地域猫避妊去勢手術TNR事業について 2 中学生の制服等のリサイクル活動について 3 J I S 認定ヘルプマークの導入について 4 クリーンセンターの建てかえについて 5 浦添城跡の整備と前田駅周辺整備について 6 沖縄都市モノレールの浦添延長について 7 働き方改革と会計年度任用職員導入について
15 田 畑 翔 吾	1 公立小学校や中学校の給食費の保護者負担を全額補助して無償にする市町村が全国で広がっています。給食費無料の先進県である群馬県では、今年6月時点で完全無償化10自治体、一部無料及び補助が13自治体と、実に6割を超える自治体が「無料化」の流れを加速させています。学校給食法は食育の推進を掲げています。憲法第26条第2項は「義務教育は、これを無償とする」としています。本市で学ぶ全ての子どもたちが安心して学校給食を食べることができるよう、所得制限をなくし、学校給食費の無償化を実現することについて 2 返済のいらない給付型奨学金制度の抜本的拡充を求める声が、学生や保護者、教育関係者の粘り強い運動の中で広がっています。世論の声に押され安倍首相は、今年2月の施政方針演説の中で「どんなに貧しい家庭に育っても、高校、高専にも、専修学校、大学にも進学できるチャンスを確保します」と宣言しました。今年4月から大学などの新入生に本格実施する予定ですが、その中身はあまりにも貧弱です。私立の自宅生約2,800人分（月4万円）を対象に先行実施が始まり、来年度から月2万～4万円を約2万人に支給するという計画です。これは1学年の学生数でみるとわずか「55人に1人」という、極めて「狭き門」にしかありません。規模が小さいこととあわせ、仕組みも問題だらけです。対象者は住民税非課税世帯で、かつ「成績優秀者」と厳しく限定しました。さらに、学業成績が不振な者には返還を求める場合があると法律に明記しており、成績判断のみで切り捨てるのかと批判を受けています。また、奨学金の給付対象者を選別するのは高校側に任せているため、全日本教職員組合の緊急調査によると、「誰が低所得か選考しなければならず拷問のようだ」「どの世帯も同じように苦しくて成績で決めるしか

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	ないのが問題だ」「希望する全ての生徒が申し込みできる制度に」などの声が多数寄せられています。いまや学生の2人に1人が奨学金という名の借金を背負って生きていかなければならないのが現実です。返済のいらない給付型奨学金を早期に実現することについて (1) 国が行う給付型奨学金の本市における対象の学生数及び対象外となる学生数について (2) 前回議会において部長は「他市町村の動向に注視しながら、その可能性について探求してまいりたい」と答弁しました。進捗について伺う。 3 今年の4月23日に行われた臨時会において、牧港補給地区に放射能汚染の可能性がある土壌が保管されていることに関する意見書及び抗議決議が全会一致で採択されました。翌24日、沖縄防衛局へ要請行動を行いました。この間、市民に対し一切の説明がなされていません。放射性物質のストロンチウム90や発がん性物質のベンゼンなどが含まれている土壌をキンザー内に放置し続けることは決して許されません。 (1) 環境調査等を目的とする立ち入りは行われたか。 (2) 放射能汚染の可能性がある土壌を速やかに撤去すること (3) 基地対策室を設置すること 4 多くの中央省庁が、雇用する障がい者の人数を、長年にわたり、実際より水増しした数字で公表していた問題が深刻な広がりを見せています。県内においても国のガイドラインに反し、障害者手帳などを確認しないまま雇用者数に算入していたことが分かりました。今回、問題となった中央省庁での水増しは、障がい者雇用を一定比率で義務付けた仕組み「障害者雇用率制度」が始まった1976年から行われていたとの指摘もあります。これほど大規模に不正が行われてきたという事実は、それだけ多くの障がい者の雇用機会が奪われたことを意味します。その被害はあまりにも甚大で、行政の信頼を根幹から揺るがす異常事態です。政府は、民間事業者に対し法定雇用率を達成するよう求めています。障がい者の法定雇用率は、2018年4月から企業は2.2%、国や地方自治体は2.5%と定めており、これに満たない企業は罰則的な意味で、不足1人につき月額5万円の「納付金」を支払う必要があります。さらに措置が講じられない場合には企業名の公表がなされます。一方の国や自治体は「率先して雇用する立場」との考えから、納付金の仕組みはありません。民間には厳しい法令順守を求めながら、政府自身は雇用率目標を達成したかのように偽装していました。障がいのある人も活躍できる共生社会の旗振り役を担う中央省庁の不正に弁解の余地はありません。 「障害者の雇用の促進等に関する法律」第3条の基本的理念には「障害者である労働者は、経済社会を構成する労働者の一員とし

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
	て、職業生活においてその能力を発揮する機会を与えられるものとする」と定めています。私たちには、障がいを持つ誰もが、差別や偏見なく、社会の一員として受け入れられる体制を整えることが求められています。 (1) 過去3年間の本市における法定雇用率の達成状況について (2) 厚労省のガイドラインに基づき障害者手帳等を確認し、法定雇用率に該当する職員を算入しているか。 (3) 本市において不適切な取り扱いはないか。 (4) 本市の障がい者雇用に対する基本的理念について 5 今年度は5年に1度の生活扶助基準の見直しの年となっています。安倍政権が、13年度の前回改定に続き、最大5%、3年をかけて国費を約160億円削減する生活扶助基準引き下げの方針を決めたことに対し、国民の不安と批判が広がっています。生活扶助費の引き下げは、生活保護世帯だけの問題ではありません。低所得世帯の子どもへの就学援助、最低賃金など一般の世帯にかかわる諸制度の給付水準を決める物差しとなっており、広がりも深刻です。また、厚労省が行った一人親世帯への「母子加算」の最大2割減額も子どもの貧困解消に逆行しています。憲法第25条において、国民の「生存権」を保障する最後のセーフティーネットである生活保護は、全ての国民の権利にかかわる重大な問題であり、本市としても市民を守る立場から、暮らしの「土台」を崩す扶助や加算のカットは撤回するように国に対し求めるべきです。 (1) 被保護世帯、被保護人員の5年間の推移について (2) 生活扶助費削減による生活保護世帯への影響額について (3) 平成30年度浦添市において影響を受ける制度とその対象人数、対応について (4) 影響の大きいとされている子育て、高齢者、母子世帯における影響額について (5) 本来保護水準以下だが保護を利用していない市民の世帯及び人数がどれだけいるか。 6 教職員の長時間勤務に歯止めがかかりません。文科省は、2016年度、教員勤務実態調査を公表しました。教員の1日当たりの学内勤務時間調査において、小・中学校ともに、校長・教頭・教諭・講師・養護教諭全てで、平均10時間から12時間学校内にいることが分かっています。前回議会においても、浦添市教育委員会が把握している、最も長い超過勤務時間は、昨年度3月、中学校教頭の157時間という実態が明らかになりました。もはや教職員は、労働基準法で定められた労働時間1日8時間を超える業務を担っており、本来業務をこなすだけで過労死ラインを超える現状をどう変えているのか。教育委員会の本気が問われています。また、沖縄県内の教員の

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	多くが過労死ラインを超える月80時間以上の長時間勤務を余儀なくされており、特に病気休職の発生率は全国平均の3倍以上、10年連続で全国ワーストを更新している現状からも一刻の猶予もありません。本市における教職員の多忙化をなくすことについて (1) 直近3カ月間における、過労死ライン月80時間を超える残業を行っている教職員の割合について (2) 直近3カ月間における、厚生労働省大臣告示、健康障害リスクを伴う月45時間を超える残業を行っている教職員の割合について (3) 4月からICカードによる労務管理が始まったが、土日祝日の出退勤についてはどのような取り扱いとなっているか。 (4) 本市における学校業務改善計画の策定について進捗を伺う。 (5) 教職員の持ち帰り業務について教育委員会は把握しているか。 (6) 休憩時間「45分休憩」の取得徹底について (7) 教職員が教育活動に専念できる職場環境を作るため労働安全衛生管理体制の整備をすることについて (8) 文科省は、全国の公立小中学校に部活動指導員12,000人を配置する方針を決めました。本市における教職員が、部活動による負担をどの程度負っているのか把握できているか。 (9) 教職員の働き方を抜本的に変えるため、本務採用をふやし、本市としても必要な教職員の雇用に独自に取り組むことについて 7 地方公務員法と地方自治法の改正に伴い、2020年4月から臨時・非常勤職員の皆さんが「会計年度任用職員制度」に移行します。国は「臨時・非常勤職員の待遇改善」「非正規にも一時金」とプラスの面を強調しますが、総務省は制度導入に当たって、地方自治体への財源手当を明確に示していません。この一時金についても、あくまで「支給できる」としているだけで自治体の判断次第です。条例化せず不支給でも違法ではありません。さらに重要なのは、たとえ非正規職員であっても、正規職員と同じ義務と規律（サービスの宣誓や守秘義務）などが求められます。本法案では、特別職非常勤職員は審議会委員などの「有識者」に限定され、大部分の職員は新たな「会計年度任用職員」に移されることになり、地方公務員法に位置付けられます。他の公務員と同様、労働基本権（団結権・団体交渉権・団体行動権）の制約を受けます。つまり、労働協約締結権やストライキ権はなくなり、労働委員会の活用も不可能になるなど問題だらけです。今後、総務省は自治体業務全般の見直しと民間委託を検討することを求めており、予算や人員確保が自治体によって困難になると、さらに自治体業務の民間委託が進められ、非正規雇用が固定化・拡大する可能性があります。非正規職員の処遇改善のための財源を、正規職員の賃金を削って捻出するよう提言したとの新聞

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	報道もあり、正規・非正規職員全体に関わる大きな問題です。日々、市民サービスに携わっている全ての職員が安心して働ける環境を整備するのは市の重要な責務です。 (1) 本市が独自に、非正規職員に対し無期転換ルールを採用することについて (2) 今後どのように会計年度任用職員制度に移行する考えか。 (3) 現状より正規・非正規全ての職員の賃金・労働条件の切り下げを行わないことについて 8 今年の10月から、沖縄県と市町村で未就学児の子どもの医療費を対象に、入院・通院ともに公費で負担する「こども医療費助成事業」が始まります。誰もが経済状況に左右されことなく、安心して必要な医療を受けられる環境は市民の願いです。こども医療費を中学校卒業まで所得制限なく窓口払いのない完全無償化を実現することについて (1) 小学6年生まで現物給付を実施するに当たって新たにいくらの財源が必要か。 (2) 中学卒業まで完全無償化を実施する場合、新たにいくらの財源が必要か。 (3) 中学卒業まで窓口完全無償化にすることについて 9 「女子中高生が月経中に体育の授業でプールに入ることを強制された」という事例が全国的に報告され疑問の声が上がっています。プールを休めず、ホルモン剤の処方を希望する生徒や、学校に提出するために診断書を求めて来院する生徒もいるという新聞報道もあり問題は深刻です。また、県内中学校の9割で保健体育の副読本として使われている「新保健学習ノート」の中で、「月経中に水泳を行っても大丈夫」と記述されていることも、欠席ができない理由のひとつとして挙げられています。 (1) 本市において、水泳の授業の際どのような対応をしているか。 (2) 生理中を授業の欠席の理由として成績に反映させた事例はあるか。
16 伊 礼 悠 記	1 当山小学校分離新設校の早期実現について、学校の候補地決定が目前であったにもかかわらず、市長から小中一貫校の可能性を検討することについて提案があり、そのため審議会を延期するということが6月議会で明らかになりました。地域の願いである分離新設を早期に実現すべきです。進捗を伺います。 2 6月の大阪北部地震でブロック塀の下敷きになった児童が犠牲となった痛ましい事故を受け、沖縄県教育委員会が公立幼稚園や小中高校、特別支援学校のブロック塀の調査を実施しました。ブロック塀のある438校のうち約68.5%に当たる300校の917カ所で建築基準

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	法に適合しないと考えられる塀があったと発表し、浦添市では7校14カ所となっています。子どもの安全が最優先されなければならない学校で、危険なブロック塀が数多く存在し放置されてきたことは重大です。早急に対策を講じることについて (1) 具体的な調査の結果について (2) 通学路と保育所、本庁舎など公共施設における安全性について (3) 安全確保のための対策について 3 浦添城跡は浦添市の貴重な文化遺産であり、沖縄戦時には「前田高地」と呼ばれ、日米両軍による激しい戦闘が行われた戦争遺跡としても大変重要な場所です。世界中から見学者が訪れ、平和的観光資源としての観点からも多くの方に訪れてほしい場所ですが、車椅子や高齢者などが訪れるには道が悪く、また入り口付近にトイレが設置されていないことから不便であるとの声が寄せられています。整備を進めるべきですが進捗を伺います。 4 沖縄県は子ども調査、高校生調査に続いて、1歳児と5歳児の保護者を対象とした未就学児調査の結果を発表しました。乳幼児を抱える親の23.3%が困窮世帯であり、全体の半数が低所得世帯という経済的に厳しい状況が明らかになりました。病院の受診控え、低賃金の長時間労働に加え保育環境など貧困度が高いほど制度やサービスを利用できていない状況が浮き彫りとなっています。浦添市が親も含めた子ども支援に全庁的に本腰を入れて取り組むべきです。 (1) 全庁的取り組み ①子どもの貧困対策に関するこの間の取り組みと成果について ②協議会の開催状況と協議内容について ③抜本的に解決するため目標値を設定し計画を策定すること ④浦添市が未就学児調査を実施し実態把握に努めること (2) 生活支援 ①妊娠期から青年期まで切れ目のない支援を行う子育て世代包括支援センターを設置すること ②浦添市の若年妊産婦の実態と支援を拡充すること ③保育ソーシャルワーカーを配置すること (3) 経済的支援 ①粉ミルクやベビーフードを支給すること ②児童扶養手当の毎月支給と所得制限を撤廃すること ③母子父子寡婦福祉資金貸付金事業を拡充すること (4) 教育支援 ①就学援助を拡充すること ②学習支援を拡充すること ③スクールソーシャルワーカーとスクールカウンセラーの増員と正規で雇用すること

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	(5) 就労支援 ①高等職業訓練促進給付金事業を拡充すること ②ひとり親、低所得世帯の就労支援を強化・拡充し、正規雇用への転換など雇用対策に取り組むこと 5 学童クラブの支援を早急に拡充することについて (1) 平成31年度の経過措置期限が迫っている条例基準について、定員超過の学童クラブ数と児童数について (2) 利用ニーズ調査を実施し、必要な施設数について潜在的待機も反映させた整備を進めること (3) 家賃の満額補助や移設関連費用補助を実現すること (4) 公的施設への入所や分離新設を早急に進めること。直近では沢峠地域の学童クラブの公的施設の早期設置を実現すること。 (5) キャリアアップ処遇改善事業等で支援員の処遇を改善すること (6) 生活保護世帯や低所得世帯、多子世帯の学童保育料の減額・免除のための補助を実現すること 6 結婚歴のない非婚のひとり親にも寡婦控除を「みなし適用」する保育料算定制度で、本来なら適用対象であったにもかかわらず、少なくとも4年間受けられていない母親がいたという報道がありました。対象者の全員が適用されるべきです。浦添市の状況について伺います。 (1) 本市で実施しているみなし適用の種類と導入後の適用件数について (2) 周知方法や手続方法について (3) 対象者が全て適用できるようにすること (4) みなし寡婦控除の適用を拡充すること 7 3月に東京目黒区で5歳の女の子が虐待を受けた末、亡くなった事件は社会に大きな衝撃を与えました。全国で毎年100人近い子どもたちが虐待死しています。浦添市においても早期発見、早期対応の促進、相談支援体制の強化、社会的養護の拡充、子育て家庭の孤立を打開するなど予防対策も含めた総合的対策が必要です。浦添市の児童虐待の実態と、子どもたちの命や暮らしを守るため抜本的解決に向けた取り組みを行うことについて 8 生活保護世帯の出産扶助費の支給漏れにより、浦添市が市民に自己負担させた問題について、3月議会では「できるだけ早く調整を済ませて支給ができるようにしていきたいと考えている。」と答弁がありましたが進捗について伺います。 9 厚生労働省が発表した平成28年度の調査によると、特別養護老人ホームなど介護施設で職員による高齢者への虐待は10年連続で過去最多、家族や親族など養護者による虐待は4年連続で増加となりました。高齢者虐待はあってはならないことであり、高齢者の尊厳を

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
	守るため、虐待の未然防止、早期発見、迅速かつ適切な対応、養護者の負担軽減に向けた取り組みを促進する必要があります。浦添市の高齢者虐待の実態と取り組みについて 10 総務省が7月に発表した2017年の就業構造基本調査によると、非正規労働者は90万人増の2,133万人となり過去最高を更新し、非正規労働者の割合は沖縄県が43.1%、若年層では44.4%といずれも全国で最も高い結果となりました。浦添市において若者や女性の就業機会の拡大、非正規労働者の正規化や待遇改善に向け官民一体となった取り組みが求められています。浦添市の雇用環境や就労状況などの実態と雇用拡大に向けた施策について 11 労働者に人間らしく働ける賃金・雇用環境を保障し、公共サービスの質の確保、事業者の健全経営、地域経済の振興にもつながる公契約条例を制定することについて
17 松 下 美智子	1 福祉行政について (1) 未婚のひとり親世帯への支援について (2) 医療的ケアの必要な子供たちへの支援について (3) 生活保護世帯へのクーラー設置について ①購入費用の助成の取り組みについて (4) 高齢者の方で介護保険サービスを受けていない方への顕彰の取り組みについて (5) 特定健診と保健指導の取り組みについて 2 性的少数者の方に配慮した「誰でもトイレ」の設置の取り組みについて (1) 現在の公的施設への設置状況 (2) 建てかえ中の港川小学校屋内運動場への設置について 3 市内小中学校のブロック塀の安全性についてお伺いします。 4 公式テニスコート建設の取り組みについてお伺いします。 5 (仮称)浦添市民平和の日の制定について (1) 提案についての取り組み状況をお伺いします。
18 下 地 秀 男	1 こども医療費助成制度の年齢拡充について 2 学校給食費無償化について 3 幼児教育無償化について 4 浦添市空き缶・吸い殻等のポイ捨て防止による環境美化促進条例とごみ袋について 5 ティーボールの小学校での取り組みについて 6 2020年東京オリンピックに向けた市民への意識向上の取り組みについて

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	7 交通事情について (1) 西洲から、なうら橋及び伊奈武瀬一丁目1番付近の交通事情について (2) キャンプ・キンザー第5ゲート付近の返還された2ヘクタールを西洲と国道58号を結ぶ土地の有効利用について (3) 西海岸に建設中の大型スーパーのオープンに伴う交通予測について (4) 浦添北道路から沖縄コンベンション通りへの2期工事について (5) 神森線の進捗状況について 8 信号機設置及び整備について (1) 神森線と神森中学校線との交差点に信号機を設置することについて (2) 神森線を国道58号側からパイプライン線に右折する際の信号機の信号表示について (3) 沢岬内間線を内間側からナカハラストアー付近交差点を大名方面に右折する際の信号機の右折信号の表示整備について 9 沖縄県知事選への市長の見解について
19 銘 莉 良 二	1 市長の政治姿勢について (1) 基地政策について (2) キャンプ・キンザー跡地利用について (3) 2020年オリンピックの事前キャンプの進捗 2 自治会の活性化 (1) 行政の指導助言について (2) まちづくりプラン賞における浦添市自治会長会による取り組み 3 まちづくりについて (1) 県道38号線拡幅に伴うまちづくりについて 4 浦添てだこまつりについて (1) 開催日変更による影響 (2) 今後の方向性
20 西 銘 健	1 人格形成の基礎を培う幼児教育を拡充することについて (1) 幼稚園で継続的に本務教諭を採用すること ①幼稚園教諭の採用方針を伺う。 ②方針どおりであれば、あと何人の本務教諭が必要か。 ③今年度、採用試験を実施すること (2) 3年保育、給食を早急に全園で実施すること (3) 幼稚園の給食を無料にすること (4) 臨時職員の処遇を改善すること (5) 用務員や事務員を配置して、先生の過重負担を軽減すること (6) 認定こども園移行に伴い、教諭の給料が引き下がることのない

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	ようにすること 2 教職員の駐車場使用料について、公務使用であるにもかかわらず減額がされず、不利益を受けるという状態が続いています。これまで規則に反して過徴収した分を教職員に返還し、今後は規則にのっとり減額することについて 3 全ての子どもが希望する保育所に通うことができるよう、認可保育所を増設し、保育士の処遇を抜本的に改善することについて (1) 現在、入所を申し込んでも入所できない子どもが何人いるか。 (2) 今後の保育所整備の具体的な計画を伺う。 (3) 市内の潜在保育士も含めて、保育士への意向調査を実施すること (4) 市独自の保育士支援をすること (5) 保育所及び認定こども園の保育料を無償化すること 4 どの子も認可保育所と同等の保育を受けることができるよう、認可外保育園への支援を拡充することについて (1) 認可保育所と認可外保育園の1人当たりの保育料はいくらか。 (2) 市が助成をして認可外保育園の保育料を無料化すること (3) 給食費の補助を拡充すること 5 中等度難聴者の補聴器の購入に補助を行うことについて 6 発がん性が指摘されるP F O S（ピーホス）が嘉手納基地から比謝川に流れ、北谷浄水場から浦添市民に供給されています。米政府の最新の研究で、沖縄県の基準値以下でも健康被害の危険性が明らかとなりました。1970年代から長期にわたり市民が汚染にさらされてきた恐れがあります。 (1) P F O Sなどの使用履歴を米軍に開示させ、基地内の立ち入りを行い、実態調査を早急に行うこと (2) 市民の命と健康を守るため、米軍にP F O Sなどの使用を即時やめさせること 7 高すぎて払いたくても払えない国民健康保険税を引き下げて、誰もが安心して病院に行くことができるようにすることについて (1) 短期証の発行状況 (2) 分割納付者で期限どおりに納付している被保険者に対して、1年間の通常証を発行すること (3) 差し押さえ件数の3年間の推移 (4) 国保税の独自減額免除件数と額の過去3年間の推移及び減額免除制度を拡充すること (5) 病院窓口で支払う医療費の減額免除件数と額の3年間の推移及び減額免除制度を拡充すること (6) 高すぎる国保税を引き下げること 8 介護保険料が引き上げられ市民から悲鳴があがっています。高すぎる介護保険料を引き下げて、誰もが安心して介護を受けることができるようにすることについて

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
	(1) 介護保険料の減額免除件数と額の３年間の推移及び減額免除制度を拡充すること (2) 介護利用料の減額免除件数の３年間の推移及び減額免除制度を拡充すること (3) 介護保険料を引き下げること 9 辺野古の海底にある断層が地質学的に極めて新しい活断層であり、今後も動く恐れのあることが判明しました。また、軟弱地盤や高さ制限違反も指摘されています。極めて危険な活断層の上に軍艦や多数の米軍機、大量の燃料や武器、弾薬が集積する基地を建設することは無謀です。翁長知事は前県政が行った埋め立て承認を撤回することを表明して急逝しました。沖縄県は圧倒的な民意を背景に承認撤回の進めを進めています。にもかかわらず、安倍政権が無法を重ねて県民の民意を踏みにじり、辺野古新基地建設を強行することは許されません。基地建設を進めようとすれば大規模な地盤改良工事が不可避であり、沖縄県知事の承認が不可欠です。知事が辺野古新基地をつくらせないという立場に立つ限り、新基地はつくれません。県民の決意に応えた翁長知事の遺志を受け継ぎ、県民が心ひとつに辺野古新基地建設をとめて、基地のない平和で豊かな誇りある沖縄を実現することについて (1) 県が承認撤回を行った場合、政府は埋め立て工事を断念すべきだが市長の見解を伺う。 (2) 県民投票を求める署名は法定数を大幅に超えて10万筆以上、浦添市では約１割が署名しました。県民投票に対する市長の見解と対応を伺う。 10 自然破壊で税金の無駄遣いの西海岸の埋め立てと浦添新軍港建設をやめて、自然豊かで市民や観光客が憩える平和な浦添市を実現することについて (1) 那覇港へのクルーズ船の寄港は10年前と比べてどうか。軍港はクルーズ船バース計画の障害物ではないか。 (2) 観光や経済振興と軍港が両立すると市長は考えているのか。 (3) 過去に米軍が計画した浦添軍港について伺う。 11 神森中学校横の新しい道路と、正門からの道路との交差点は見通しが悪く、交通量も多いため危険です。今後、国道330号への開通がなされれば、さらなる交通量の増加が見込まれます。学校に近く通学路でもあるこの交差点に早急に信号機を設置することについて
21 比嘉武宏	1 しまくとうばの普及、取り組みについて 2 浦城小学校のシンボルのつり橋廊下の修繕について 3 カーミージー地区海浜公園事業の進捗状況について 4 浦添市観光振興について 5 浦添市の歯科健診事業について 6 浦添市クリーンセンターの今後の安全対策について

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
22 真栄城 玄 誠	1 てだこ浦西駅周辺のまちづくりについて 2 市クリーンセンター内での水蒸気爆発事故について 3 職員の懲戒処分等の状況について (1) 過去５年間（平成25年度から平成29年度）の懲戒処分の件数及び処分の概要について (2) 去る７月24日の新聞報道等による市教育委員会職員の酒気帯び運転について 4 当山小学校分離新設校について 5 県外からの保育士採用について 6 泉州市小中学生交流事業について
23 護得久 朝 文	1 この秋に行われる県知事選について (1) 西海岸開発における影響について (2) 那覇軍港移設はどうなりますか。 2 少年の船について 3 市民の夢応援プロジェクトについて 4 大平２丁目、りうぼうから神森中学校への道路について (1) 子供の通学路となっているが横断歩道について (2) 歩道の確保について 5 自立支援室「ひなた」について 6 シーサー通りの信号機について 7 事業系ごみの収集について
24 古波蔵 保 尚	1 市長の政治姿勢について (1) 公約を破り退職金を受け取る考えかを伺う。 (2) 市長専用車について伺う。 (3) 県民投票に協力するかを伺う。 (4) オスプレイの危険性についての見解を伺う。 (5) 地元企業優先発注について伺う。 2 西海岸開発の課題を伺う。 3 浦添市南第一、第二地区土地区画整理事業の進捗状況と課題を伺う。 4 福祉・教育行政について (1) 保育行政について ①待機児童の状況と課題を伺う。 ②保育園の定員割れの状況と課題を伺う。 ③小規模保育事業の課題を伺う。 ④企業主導型保育の課題を伺う。 ⑤保育施設の安全性は確保されているかを伺う。 ⑥認可外保育施設支援の課題を伺う。 (2) 教育長の教育方針と浦添市に対する思いを伺う。

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	5 公共施設のトイレの状況と課題を伺う。 6 運動公園のウォーキング・ジョギングコースや公共施設へ緩衝材を敷設してはどうか伺う。
25 又 吉 謙 一	1 国内外から浦添市へ訪れる観光客の動向状況について 2 工事請負契約に係る入札について (1) 辞退する業者が多いが割合について (2) 辞退の要因 (3) 事業の執行に影響はないか。 3 シーサー通りの信号機を時差式にすることについて 4 市内各所において、横断歩道の白線が消えかかっているが対応について 5 内間消防署前交差点の安全確保について (1) 交通島が設置されているため優先権がわかりづらい。対策について伺う。 6 側溝を利用した歩道の安全確保について
	以 上